



## 1. マーケット・レート

			7月23日	7月24日	7月25日	7月26日	7月27日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7840	3.7490	3.6910	3.7470	<b>3.7120</b>	-0.0350
	BRL/JPY	Spot	29.43	29.65	30.06	29.68	<b>29.91</b>	+0.23
	EUR/USD	Spot	1.1692	1.1683	1.1731	1.1643	<b>1.1657</b>	+0.0014
	USD/JPY	Spot	111.35	111.18	110.97	111.23	<b>111.05</b>	-0.18
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.793	6.769	6.710	6.733	<b>6.703</b>	-0.030
	Future	1Year(p.a.)	7.526	7.543	7.423	7.433	<b>7.308</b>	-0.125
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.345	3.275	3.333	3.364	<b>3.270</b>	-0.093
	USD	1Year(p.a.)	3.933	3.911	3.863	3.864	<b>3.784</b>	-0.080
株式	Bovespa指数		77,996.13	79,155.00	80,218.06	79,405.38	<b>79,866.13</b>	+460.75
CDS	CDS Brazil 5y		225.05	224.00	214.77	213.89	<b>211.62</b>	-2.27
商品	CRB指数		192.486	193.189	194.655	194.992	<b>194.157</b>	-0.835

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは国外のリスクオンムードを背景に今年5月下旬以来となる3.68台へ上昇。
- 今週のレアルは3.7720で寄り付いた。直後に週間安値3.8020を付けたが、中国人民銀行による金融緩和の実施や、米国・EU間で貿易戦争回避に向けた前進が見られたことでリスクオンの動きが強まり、レアルは週間高値3.6890まで上昇した。その後、ライトハイザー米通商代表部(USTR)代表の北米自由貿易協定(NAFTA)再交渉に対する前向きな発言を受けてドルが買われる中、レアルは3.74台へ反落。然しながら米第2四半期GDPが予想を下回ったことでドル買いの動きは勢いを失い、結局3.7120で越週した。
- 週初に発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2018年が1.50%、2019年は2.50%で据え置かれた。インフレ率予想は2018年が4.15%から4.11%へ下方修正されたが、2019年は4.10%で据え置き。年末の為替レートは2018年が3.70で据え置かれ、2019年は3.68から3.70へレアル安方向に修正された。
- 23日、中国人民銀行は金融機関に対して大規模な資金供給を行った。また、中国政府は24日に内需拡大に向けた減税等の政策を発表。米国との貿易問題悪化が警戒される中、国内経済減速への対策を実施する姿勢を示した。
- 今週、米国を取り巻く通商問題への警戒感はやや後退。25日に米政府とEUとの間でLNGと大豆の対応輸出拡大、及び米欧の工業製品関税の引き下げで合意したことが発表された。翌26日にはライトハイザー-USTR代表がNAFTAの再交渉について「基本合意に向けた最終段階にある」と述べ、市場ではリスクオンの動きが強まった。
- 26日に発表された6月のブラジル向け直接投資は65億ドルの資金流入となり、予想の60億ドルを上回った。今年6月までの直近12か月では約643億ドルの資金流入となっており、同期間の経常赤字139億ドルを大きく上回っている。

## 3. 今週のチャート&ハイライト



### 中道連合がアルキミン氏の支持を正式に表明

今週、伯民主党(DEM)等の5政党で構成される中道連合は10月の大統領選挙について、伯社会民主党(PSDB)の候補であるアルキミン前サンパウロ州知事を支持することを正式に表明した。改革に前向きとされる同氏への支持拡大がサポート材料となったことに加え、今週は国外でも貿易摩擦問題の緩和を受けてリスクオンが進行したため、ブラジル資産は堅調な動きとなった。ボベスパ指数は25日、終値ベースで5月24日以来となる80,000ポイント台へ上昇。また伯国債の5年物CDSスプレッドは約211bpsと5月下旬以来の水準に低下している。



#### 4.来週の為替市場注目点

#### 予想ドル・レアル相場レンジ：3.70—3.80

来週のレアルは引き続き3.70-3.80でのレンジ推移を予想する。今週は国外要因によるリスクオンの動きからレアルは堅調な動きが続いたが、貿易摩擦については米・中の中で依然として情勢悪化のリスクが残っている状況。また、国内の大統領選挙での中道連合によるアルキミン氏支持についても、現時点で大統領選の票数に直接的な影響を与えるものではなく、世論による同氏への支持を今後見極める必要がある。レアル買いの動きは次第に弱まるものとする。

来週は7月31日-8月1日にブラジル国内ではCOPOM、米国ではFOMCが開催されるが、ともに政策金利は据え置きが予想されている。国内では5月の物流ストを受けたインフレ圧力が落ち着く動きを見せている中、COPOMの声明文が今後の金融政策についてハト派のトーンを強めるか注目したい。

#### 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	融資残高	--	3130b	3107b
ブラジル	個人ローンデフォルト率	--	5.0%	5.0%
ブラジル	中央政府財政収支	-13.4b	-16.4b	-11.0b
米	GDP(年率/前期比)	4.2%	4.1%	2.0%
米	個人消費	3.0%	4.0%	0.9%
米	GDP価格指数	2.3%	3.0%	2.2%
米	CPI PCE(前期比)	2.2%	2.0%	2.3%
米	ミシガン大学消費者マインド	97.1	97.9	97.1

#### 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	7/30	FGVインフレIGPM(前月比)	Jul	0.50%	1.87%
ブラジル	7/30	純債務対GDP比	Jun	51.1%	51.3%
ブラジル	7/30	CNI Consumer Confidence	Jul	--	98.3
ブラジル	7/31	全国失業率	Jun	12.6%	12.7%
ブラジル	8/1	FGV CPI IPC-S	Jul/31	0.24%	0.38%
ブラジル	8/1	SELICレート	Aug 1	6.50%	6.50%
ブラジル	8/1	CNI設備稼働率(季調済)	Jun	76.0%	75.9%
ブラジル	8/1	貿易収支(月次)	Jul	\$5707m	\$5882m
米	8/1	FOMC政策金利(上限)	Aug 1	2.00%	2.00%
ブラジル	8/2	鉱工業生産(前月比)	Jun	13.8%	-10.9%
ブラジル	8/2	鉱工業生産(前年比)	Jun	4.3%	-6.6%
ブラジル	8/3	自動車生産台数(伯自工会)	Jul	--	256305
ブラジル	8/3	自動車販売台数(伯自工会)	Jul	--	201982
米	8/3	非農業部門雇用者数変化	Jul	193k	213k
米	8/3	失業率	Jul	3.9%	4.0%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。